

# 2022年度出力制御見通しについて

---

2022年9月14日

中国電力ネットワーク株式会社



# 1. 概要

- 2022年度の中国エリアにおける出力制御見通し（第38回系統WG（2022年4月12日）報告）について、6月までの出力制御実績等を反映し、見直し。
  - 2022年度の出力制御率は0.16～0.21%程度の見込み。

## （注）算定的前提条件

- 需要・太陽光・風力は、2021年1月～2021年12月の前日想定・実績データを使用
- 太陽光、風力の設備量は、2022年3月末設備量に至近の増加量を考慮
- 連系線活用量は、2022年度の関西中国間連系線の運用容量から、関門および本四連系線の運用容量を控除した量
- 供給力は、2022年度の補修計画を反映し、調整火力は必要最小限を織り込み
- オフラインの制御量は、前日の予測値（需要・再エネ出力）に誤差を加算して算定
- 出力制御率は、各区分の太陽光出力制御量／各区分の太陽光総発電量（出力制御量含み）にて算定
- 2022年4月～2022年6月の出力制御量は実績値



## 2 - 1 . 2022年度の再エネ出力制御の見通しについて

■ 連系線100%活用時の出力制御見通しを以下に示す。

〈2022年度出力制御見通し（連系線100%活用時）〉

	出力制御率（制御電力量） [太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2022年度 見込み	<b>0.38%</b> (0.139億kWh) 〔太陽光：0.42%〕 〔風力：0.08%〕	<b>0.04%</b> (0.004億kWh) 〔太陽光：0.04%〕 〔風力：-〕	<b>0.04%</b> (0.007億kWh) 〔太陽光：0.04%〕 〔風力：-〕	<b>0.04%</b> (0.002億kWh) 〔太陽光：0.04%〕 〔風力：0.08%〕	<b>0.20%</b> (0.152億kWh) 〔太陽光：0.21%〕 〔風力：0.08%〕	<b>0.16%</b> (0.143億kWh) 〔太陽光：0.16%〕 〔風力：0.08%〕
(参考) 2022年度 エリア全体オンライン化	<b>0.05%</b> (0.024億kWh) 〔太陽光：0.05%〕 〔風力：0.02%〕		<b>0.05%</b> (0.012億kWh) 〔太陽光：0.05%〕 〔風力：-〕	<b>0.05%</b> (0.003億kWh) 〔太陽光：0.05%〕 〔風力：0.02%〕	<b>0.05%</b> (0.039億kWh) 〔太陽光：0.05%〕 〔風力：0.02%〕	<b>0.04%</b> (0.039億kWh) 〔太陽光：0.04%〕 〔風力：0.02%〕

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフラインの制御量相当(8時間停止)に換算した値。

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合。

〈2022年度出力制御見通し(全設備)の内訳〉

	実績	見通し	
	4～6月	7～3月	年度合計
全設備	<b>0.52%</b> (0.143億kWh) 〔太陽光：0.52%〕 〔風力：0.42%〕	<b>0%</b> (0億kWh) 〔太陽光：0%〕 〔風力：0%〕	<b>0.16%</b> (0.143億kWh) 〔太陽光：0.16%〕 〔風力：0.08%〕



## 2-2. 2022年度の再エネ出力制御の見通しについて

■ 連系線50%活用時の出力制御見通しを以下に示す。

〈2022年度出力制御見通し（連系線50%活用時）〉

	出力制御率（制御電力量） [太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2022年度 見込み	<b>0.50%</b> (0.184億kWh) 〔太陽光：0.57%〕 〔風力：0.08%〕	<b>0.12%</b> (0.013億kWh) 〔太陽光：0.12%〕 〔風力：-〕	<b>0.12%</b> (0.025億kWh) 〔太陽光：0.12%〕 〔風力：-〕	<b>0.12%</b> (0.006億kWh) 〔太陽光：0.12%〕 〔風力：0.08%〕	<b>0.31%</b> (0.229億kWh) 〔太陽光：0.32%〕 〔風力：0.08%〕	<b>0.21%</b> (0.186億kWh) 〔太陽光：0.22%〕 〔風力：0.08%〕
(参考) 2022年度 エリア全体オンライン化	<b>0.11%</b> (0.050億kWh) 〔太陽光：0.12%〕 〔風力：0.03%〕		<b>0.12%</b> (0.026億kWh) 〔太陽光：0.12%〕 〔風力：-〕	<b>0.12%</b> (0.006億kWh) 〔太陽光：0.12%〕 〔風力：0.03%〕	<b>0.11%</b> (0.082億kWh) 〔太陽光：0.12%〕 〔風力：0.03%〕	<b>0.09%</b> (0.082億kWh) 〔太陽光：0.10%〕 〔風力：0.03%〕

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフラインの制御量相当(8時間停止)に換算した値。

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合。

〈2022年度出力制御見通し(全設備)の内訳〉

	実績	見通し	
	4~6月	7~3月	年度合計
全設備	<b>0.52%</b> (0.143億kWh) 〔太陽光：0.52%〕 〔風力：0.42%〕	<b>0.07%</b> (0.043億kWh) 〔太陽光：0.07%〕 〔風力：0.00%〕	<b>0.21%</b> (0.186億kWh) 〔太陽光：0.22%〕 〔風力：0.08%〕



### 3. 電源（太陽光、風力）のオンライン化

- 旧ルールのおフライン事業者に対して、出力制御実施時などの機会を捉えオンライン化のメリットを説明し、出力制御機能付PCS等への切替の促進活動を継続して実施。
- 旧ルール太陽光事業者207万kWのうち32.7%（67.7万kW）がオンラインへ切替。

[万kW]

		2022年3月末	(参考)2021年7月末
太陽光	①オンライン化率 ((②+④)/(②+③+④))	65.2%	63.0%
	②新ルール・無制限無補償ルール, オンライン事業者	193.2	180.8
	③旧ルール, オフライン事業者	139.2	139.9
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	67.7	57.1
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 (④/(③+④))	<b>32.7%</b>	<b>29.0%</b>
風力	⑥オンライン化率 ((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))	0.1%	0.1%
	⑦新ルール・無制限無補償ルール, オンライン事業者	0.04	0.04
	⑧旧ルール, オフライン事業者	35.2	35.3
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	-	-
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 (⑨/(⑧+⑨))	<b>0%</b>	<b>0%</b>

(備考) 旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者、新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光は、10kW以上）について算定。

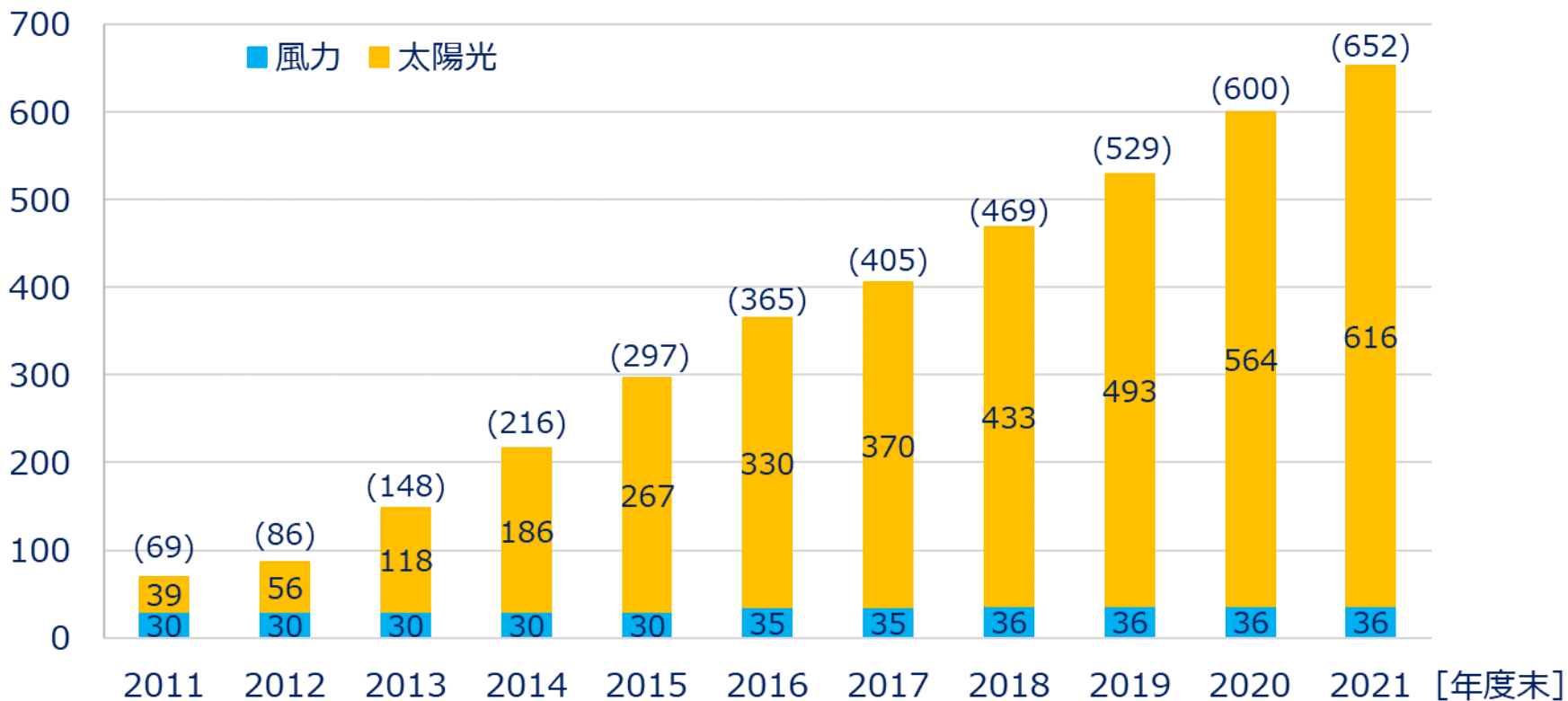


## (参考) 再エネの導入状況について

■ 2011年度から2021年度にかけて、太陽光は39万kWから616万kWに、風力は30万kWから36万kWへ増加。

設備量 [万kW]

【中国エリアの太陽光および風力の導入量】



余剰買取制度



R P S 制度



F I T 制度

